

議会報告会・意見交換会概要

【網走南ヶ丘高校で出前授業を実施しました】

市民に開かれた議会を目指して網走市議会は11月19日、網走南ヶ丘高校の生徒との意見交換会を実施しました。

網走南ヶ丘高校との共催で企画し、市議会議員14名が1年生39名と「選挙にいこう!」をテーマに意見を交わしました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、議員の学校への直接訪問は2名とし、高校の教室と委員会室をオンラインでつなぐ手法で開催しました。

前段では、地方議会が担っている役割や選挙の意義について、議会側から説明。後半は、参政権年齢が18歳に引き下げられたのを受け、「どんな選挙なら若い人が積極的に投票へ行くか」という視点で議員と生徒が意見を交わしました。

生徒からは「選挙期間中のスタンプラリーが完成したら特産品がもらえる仕組み」「働いている人が休日の時間をつぶさないよう企業へ投票を呼びかける」「インターネットを使った電子投票」「投票所の雰囲気は堅苦しいので、もう少し柔らかい雰囲気が良い」など多くのアイデアや意見が出されました。また、質疑応答では、生徒から「議員の日常の活動」「年収」「何歳から議員になったのか」といった質問も出され、議員が個別に回答しました。

市議会では、議会基本条例の策定に前後して、2013年から市民向けの議会報告会や意見交換会をこれまで計8回開催してきました。この度は、将来のまちづくりの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映しようと網走南ヶ丘高校との意見交換会の実施に至りました。